

平成 19 年度高等学校情報処理教育継続研修
研 修 報 告 書

目次

研修概要 ----- 1

研修者の感想等 ----- 3

氏名	学校名	教科	コース名	ページ
大竹野 利 勝	川内商工高等学校	工業	情報技術	3
山 口 信 亮	川内商工高等学校	工業	情報技術	4
榎 園 美保子	加治木工業高等学校	工業	情報技術	5
山 下 忍	鹿児島南高等学校	商業	情報処理	6
岡 田 洋一郎	入来商業高等学校	商業	情報処理	7
藤 田 貴 瑞	牧 園 高 等 学 校	商業	情報処理	9
草 道 拓 郎	鹿児島商業高等学校	商業	情報処理	10
下 吉 奈 々	指宿商業高等学校	商業	情報処理	11
山 下 美由紀	鹿屋女子高等学校	商業	情報処理	12
八 木 泰 浩	鹿児島水産高等学校	水産	情報総合	13
本 田 法 玄	出水商業高等学校	理科	情報総合	14

「研修報告書」について

高等学校情報処理継続研修は、急速に進展する情報化に対応した情報処理教育を推進するため、昭和 61 年度に始まり、これまでの 22 年間に約 300 名の県内高等学校の教員が受講してきました。

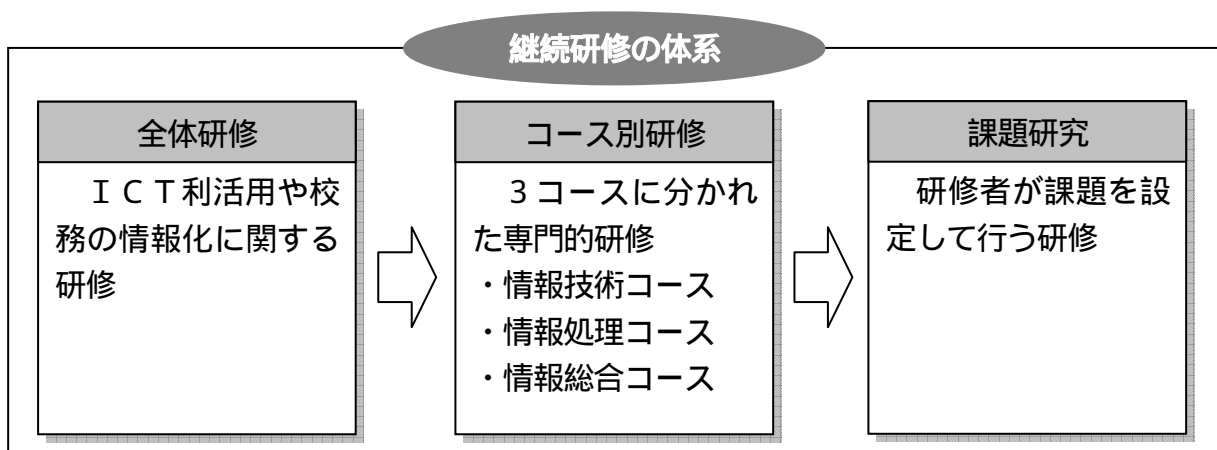
研修内容は、専門高校における情報技術や情報処理に関する専門的なものを主に行ってきましたが、ICT 利活用や校務の情報化など、社会の変化や学校の要請に応えるよう工夫・改善を続けています。

特に、平成 19 年度からは、普通教科「情報」の指導の充実に関することや、学校ホームページの作成、教材作成や校務処理ソフトの開発など、情報教育のより一層の充実を目指すため、普通科を設置している高等学校で、普通教科「情報」を担当している教員及び情報教育の推進を担当する教員にも募集対象を拡げました。

研修成果は、各学校の研修会や研究紀要等で直接還元されるだけでなく、教科の教育研究会等で生かされてきていましたが、今回はじめて研修者全員の感想等を報告書としてまとめました。

情報化の進展はめざましく、その影響は社会のあらゆる分野に及び、日常生活にも大きな変化をもたらしています。これからの情報教育を推進していくために、継続研修の更なる内容改善に努め、充実したものにしたいと考えています。この報告書を各学校で活用していただくとともに、継続研修への理解と受講希望者への情報提供等に役立てていただくと幸いです。

平成 20 年 3 月 鹿児島県総合教育センター



研修概要

1 目的

急速に進展する情報化に対応した情報処理教育を推進するため、県内の高等学校において情報技術・情報処理に関する科目を担当する教員及び情報教育の推進を担当する教員を対象に、年間を通して継続的に専門的研修を行い、新しい知識や技術の習得を図って、情報処理教育の充実に資する。

2 対象

- (1) 農業・工業・商業・水産・家庭・看護・福祉に関する学科、もしくはその他の専門に関する学科を設置している高等学校において、情報技術・情報処理に関する科目を担当する教員及び情報教育の推進を担当する教員
- (2) 普通科を設置している高等学校で、普通教科「情報」を担当している教員及び情報教育の推進を担当する教員

3 人数

11人

4 研修期間・日時

平成19年5月11日から平成20年2月8日までの期間における金曜日(年間21回)
9時30分から16時まで

5 研修内容

コース	全体研修	コース別研修
情報技術	・インターネットの教育利用 ・ホームページ作成ソフトの基礎 ・プレゼンテーションソフトの基礎 ・LANの構築と活用 ・2003サーバの構築と活用 ・画像処理ソフト・動画編集ソフトの基礎 ・データベースソフトの基礎 ・成果のまとめと発表	・Flashの基礎と活用 ・制御基板の製作 ・プログラム言語 ・ポケコンによる制御
情報処理		・エンドユーザコンピューティング ・データベースソフトの活用
情報総合		・Flashの基礎と活用 ・ホームページ作成ソフトの活用 ・プレゼンテーションソフトの活用 ・表計算ソフトの基礎、活用

6 日程及び研修内容

回	月/日	情報技術コース	情報処理コース	情報総合コース
1	5/11	開講式，オリエンテーション・見学 インターネットの教育利用		
		ホームページの作成ソフトの基礎		
2	5/18	プレゼンテーションソフトの基礎		
3	5/25	LANの構築と活用(簡易LAN等)〔1〕		
4	6/1	2003 サーバの構築と活用		
5	6/8	Flashの基礎と活用	エンドユーザコンピュータ〔1〕 ・シスアド研修 ・ブックの利用	Flashの基礎と活用
6	7/6	制御基板の製作〔1〕 ・インターフェースの製作	エンドユーザコンピュータ〔2〕 ・シスアド研修 ・関数	ホームページの作成ソフトの活用〔1〕 ・フレームページの作成
7	7/13	制御基板の製作〔2〕 ・インターフェースの製作	エンドユーザコンピュータ〔3〕 ・シスアド研修 ・ピボットテーブル	ホームページの作成ソフトの活用〔2〕 ・スタイルシートの作成
8	9/14	制御基板の製作〔3〕 ・インターフェースの製作	エンドユーザコンピュータ〔4〕 ・シスアド研修 ・グラフ応用	ホームページの作成ソフトの活用〔3〕 ・課題研究
9	9/21	プログラム言語〔1〕 ・ポケコンによる制御 (BASIC・C言語)	エンドユーザコンピュータ〔5〕 ・シスアド研修 ・グラフ応用	プレゼンテーションソフトの活用〔1〕 ・効果的なスライド作成 ・ハイパーリンクの設定
10	9/28	プログラム言語〔2〕 ・ポケコンによる制御 (C言語・アセンブラ言語)	エンドユーザコンピュータ〔6〕 ・シスアド研修 ・グラフ応用	プレゼンテーションソフトの活用〔2〕 ・課題研究
11	10/5	制御対象基板の製作と制御プログラム〔1〕 ・制御対象基板の製作	エンドユーザコンピュータ〔7〕 ・シスアド研修 ・VBA	表計算ソフトの基礎 ・集計処理 ・グラフ作成
12	10/12	制御対象基板の製作と制御プログラム〔2〕 ・制御プログラム	エンドユーザコンピュータ〔8〕 ・シスアド研修 ・VBA	表計算ソフトの活用〔1〕 ・マクロ ・VBA
13	10/19	制御対象基板の製作と制御プログラム〔3〕 ・制御プログラム	エンドユーザコンピュータ〔9〕 ・シスアド研修 ・VBA	表計算ソフトの活用〔2〕 ・課題研究
14	11/9	LANの構築と活用(AUTO ASP等)〔2〕		
15	11/16	画像処理ソフト・動画編集ソフトの基礎		
16	11/30	データベースソフトの基礎		
17	12/7	課題研究〔1〕 ・テーマの設定，構想	データベースソフトの活用	課題研究〔1〕
18	12/14	課題研究〔2〕 ・設計	課題研究〔1〕	課題研究〔2〕
19	1/11	課題研究〔3〕 ・製作	課題研究〔2〕	課題研究〔3〕
20	1/18	課題研究〔4〕 ・制御プログラミング	課題研究〔3〕	課題研究〔4〕
21	2/8	課題研究〔5〕 ・成果のまとめ	課題研究〔4〕 ・成果のまとめ	課題研究〔5〕 ・成果のまとめ
		発表会・修了式		

1 研修成果と今後の活用

1年間を通して継続研修として様々な研修に取り組んできました。この研修を通して、私は授業でよく情報機器を使用していたつもりでしたが、まだまだ未熟でもっと工夫をしないといけないということに気付くことができました。また、今まで使用したこともなかったソフトも学ぶこともできたし、一度は勉強してみたいと考えていた講座もあり、とても充実していた1年でした。

今後はこれらの研修で学んだことを基に、学校業務や授業に生かしていきたいと考えています。

特に、コース別研修では、ほとんどすべてが初めての体験でした。ハンダごての使い方から回路図の読み方まで、各先生方にご迷惑をかけながらでしたが、このような体験が、初めて機械科の生徒が電子回路の実習に取り組むときに、どのような導入をしていき実習に持っていくか、そして、どのように展開していくかを考える事ができました。

最後に取り組んだ課題研究で製作した「電光掲示板」を基にして、今後は複数のLEDをつないだ電光掲示板を制御してみたいと考えます。また、小型LEDマトリクスモジュールを組み合わせて今のモデルより大きく見やすい電光掲示板を、生徒実習の中で製作していきたいと考えています。

2 感想等

私はこの継続研修に参加して、ものづくりの楽しさや達成感を久しぶりに感じる事ができました。学生から教員となり、教科の勉強や教育の学習はしてきましたが、ここまで一つの分野に集中して勉強する事ができたことに感謝しています。初めは、心配や不安だけでしたが、所員の方々や、同じく研修を受講している先生方の助言や協力もあり、無事に課題研究発表まで終える事ができました。

今はこの研修で学んだことをどのようにして学校や生徒に還元していくかが課題となっています。各授業及び実習や学級運営に活かすために、ここからがまた研修の新たなスタートと思い、これから活用していきたいと思えます。



図 PICを使って制御する電光
掲示板

1 研修の成果と今後の活用

(1) 研修のねらい

情報技術コースではマイコン制御に視点を置き、現在頻繁に使われるようになったP I Cマイコンを用いてプログラミングすることにより、工業高校の教員としての知識を高めながら、生徒実習で使える教材として活用できるように取り組みました。

(2) 研修の流れ

ア 制御の基礎研修

圧電ブザーとL E Dの1ビット制御回路製作
マシン語によるL E Dの点滅制御
マシン語による圧電ブザーの制御
アセンブラ言語の研修

イ 制御の応用研修

電子ルーレット制御回路製作
P I Cライターによる書き込み
P I Cによる電子ルーレット制御
7セグメント点数板制御回路製作
P I Cによる点数板制御

情報技術コースでは、回路製作の基本であるハンダ付けから始まり、ブザーやL E Dを制御するプログラム学習や動作原理の解析などを行いました。身近にあるポケコンを使い「こんなに多くのことができるのか！」と驚きながら毎回の研修が楽しみでした。これらの研修を重ねていく中で「P I Cを用いて何か制御できないだろうか」と考え、課題研究のテーマを「P I C制御による点数板の製作」にしました。P I C自体が初めてふれる内容であり、命令数が少ないとはいえ慣れるまでに時間がかかりましたが、L E Dを順次点滅させるなどの方法を習得することができました。そして、左右の7セグメントL E Dの加点・減点・リセットを別々に制御させる内容に研修が進んでいきましたが、試行錯誤しながら繰り返し、やっとのことで制御に成功しました。今後はこの成果をもとに大型の点数板製作に挑戦したいと思います。

今回この継続研修を行う中で、新しいことを知った感動や、試作したものが動作したときのなんともいえない充実感など、ものづくりならではの貴重な体験をすることができました。この研修をきっかけに知的好奇心を育むものづくり教育に力を入れ、工業高校で学ぶ生徒のために努力していきたいと思ひます。

2 感想等

年間21回予定された継続研修も無事終了することができ、まず安心しているところです。最終回の午後には研修者が課題研究で取り組んだ内容を発表し、何ともいえない緊張感を味わうこともできました。情報技術コースでは、3名の研修者が共同で「P I Cマイコンによる実習用教材製作」に取り組んできましたが、研修日の合間に学校でも研究を行い無事完成させることができました。そして、その成果を堂々と発表することができ、継続研修の有終の美を飾ることができました。

今回の継続研修では、マイコンに限らず情報に関する様々な分野の研修を体験でき、大きな収穫を得ることができました。特にマイコン制御に関しては、実習用教材を完成させることによって多くの知識を得ながら大きな自信も得ることができました。この継続研修で得た知識を生徒たちに還元し、ものづくりのできる工業高校生を育てていきたいと思ひます。

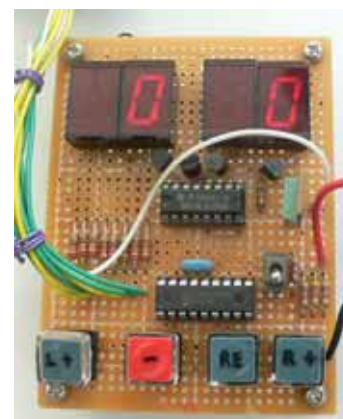


図 P I Cを使って制御する
点数板

1 研修成果と今後の活用

(1) P I Cを利用した基本的な装置～電子ルーレット～の製作

<製作方法>

回路図を見ながら，汎用基盤に部品のハンダ付けを行う。

P I Cへのプログラムの書き込みと実行

(2) P I Cを利用した装置～ライトレースカー&電光掲示板～の製作

<製作方法>

ライトレースカーは，キットを利用したので，説明書を見ながら組み立てた。

また，電光掲示板は，回路図を見ながらハンダ付けと組立を行った。

それぞれP I Cを取り付け，プログラムの書込を行った。

ライトレースカーに台を取り付けて，電光掲示板を搭載した。



図 P I Cを使って制御する電子ルーレット



図 P I Cを使って制御する電子ルーレット



図 P I Cを使って制御する電子ルーレット



図 P I Cを使って制御する電子ルーレット

<今後の活用>

- ・ 電子ルーレットは，L E Dを発光させたり，ブザーを鳴らしたりとP I C制御の基本的な学習をするうえで，手軽で使いやすい教材なので，ぜひ生徒の実習に取り入れてみたい。
- ・ 「ライトレースカー&電光掲示板」は，プログラムについて理解できていないところが多いので，もっと学習を積んでいき，連動した動きができるようにしていきたい。

2 感想等

ポケコンによる制御や，P I Cによる制御は，興味はあってもどう学習すればよいのか分からない状況でしたが，継続研修を受講する機会を得て，集中して学ぶことができ，大変有意義であり充実できました。

しかし，まだまだ理解が不十分なのでこれからも学習を続けていきたいです。

この1年間，情報技術について様々なことを学ぶことができました。特に，L A Nの構築・データベース・画像処理等，日常的に使用していない内容について学習できたことは，私にとって貴重な体験になりました。これを生かして生徒へも還元できるようにしていきたいです。

1 研修成果と今後の活用

私は、次に掲げる三つを目的に継続研修を受講しました。

情報教育への興味関心を高める

表計算・プレゼンテーションソフト等の基本操作習得

マクロプログラムによる自動操作技術の習得

1年間の研修の成果として、次の3点を挙げます。

マクロプログラムによる自動化

学級費・問題集代金などを徴収する請求書・領収書などの自動印刷

学級PTAの資料作成【商業科の特色】等

パワーポイントを活用して資料を作成し、配付

監督割君【考査監督・時間割管理ファイル】の作成

エクセルを活用して、現在作成中

マクロプログラムを活用することにより入力の手間を削減

まだまだ、知識不足なので、日々研修に励み、工夫や改善を加え、いろいろな機会に継続研修で学んだことを生かしていきたいと思っています。

2 感想等

情報処理に関する知識がもっと必要だと思い、年21回の継続研修を受講しました。受講する以前よりも、多くの情報処理に関する知識が身に付きました。LANの構築やサーバの構築は普段の校務でなかなか経験することがないので、とてもよい体験になりました。また、コース別研修では初級システムアドミニストレータの試験に向けての学習に励みました。午前・午後問題のドリルでは、いつも半分程度しか取れませんでした。試験の結果も不合格で、私自信の学習不足が原因だったと痛感しました。機会を見つけて受験し、今度こそは合格したいと思っています。

研修で学んだことは、情報に関する知識のほんの一部だとは思いますが、その一部でも知ることができ、本当によかったと思います。これからの日々の中で、少しずつ学習していき、知識を身に付け、この1年間の継続研修が無駄にならないようにしていきたいと思っています。また、研修したことを一つでも多く、還元していきたいと思っています。



図 Excel の VBA を使って作成した試験監督割作成ソフトのメニュー画面

1 研修成果と今後の活用

シスアド研修

商業科教員には初級システムアドミニストレータや基本情報技術者といった上級資格取得の指導力が求められます。研修では、初級システムアドミニストレータ試験に向けて過去問題を中心に取り組み、それぞれ研修者がレジュメ等を用意し、講義形式で理解に努めました。知識習得にとどまらず、様々な指導方法を学ぶことができたことが何よりも財産となりました。本番の試験会場では多くの高校生の姿があり、これから上級資格取得指導を積極的に取り組むことが必要だということを実感しました。

今回の研修成果の一つとして、初級システムアドミニストレータ試験に合格することができました。様々な指導方法の習得や自らが受験生となり取り組んだことが貴重な財産となりました。本校にも初級システムアドミニストレータに取り組んでいる生徒がいるので、生徒の目標達成の力になれるように指導力向上に努めたいと思います。

プレゼンテーションソフト等の基礎

プレゼンテーションの代表的なソフトとして、授業や発表など様々な場面で用いられているパワーポイントを学習しました。アニメーションや効果音が簡単に設定できるため安易に使われがちですが、パワーポイントは自分の情報を相手に伝えるツールの一つにすぎないということを忘れてはいけません。分かりやすく説明ができたという自己満足で終わっても意味がなく、伝えたいことを相手に的確に伝えることが重要だということを実感しました。

「教師」は普段から「授業」というプレゼンテーションを行っています。50分という限られた時間に生徒に伝えるためにも、多様な情報伝達手段を身につけ、効果的にプレゼンテーションができるように資質・指導力の向上を図りたいです。

データベースソフトの活用

小・中学校で文書処理や表計算といったソフトの基本的な操作方法を学んできた生徒が商業高校へ入学してきています。その生徒たちに新たな魅力を感じさせるためにもデータベースの活用を指導することが有効であると思いました。また、校務で生活・交通指導係を担当していることもあり、課題研究ではデータベースソフトを利用した生徒通学管理システムを作成し、入力・検索・一覧（出力）といった三つの基本操作ができるようにしました。

現在、生徒がどのような交通手段で通学しているかが把握できるように、また原付バイクがどの生徒のものか検索できるように実際に活用して校務に役立てていきたいです。

2 感想等

まず、今回継続研修の機会を与えていただいたことに感謝しています。初任のときの最後の研修で指導教諭から、「2年目からは、自分で課題を見つけて取り組んでいかなければいけない」と言われたのが、継続研修の受講を意識した瞬間でした。

商業科の教員として魅力ある授業を展開していきたい、専門教科の指導力を高めたいと思い希望しました。

情報処理コースは6名の商業科の研修者がおり、研修の休憩時には各学校の情報交換を行うなど、よい意味での刺激を受けることができました。そういう意味でも貴重な研修となりました。

初任校として配属された入来商業高等学校は来年度で閉校となりますが、最後の卒業生となる生徒たちが“商業”の魅力を感じて、卒業を迎えられたらと思います。そのためには指導者に多様な知識・技術などを含めた指導力が求められます。継続研修はその契機になったと思います。

継続研修で学んだことを、さらに発展させて自分なりの形で示すことができるように研鑽していきたいです。

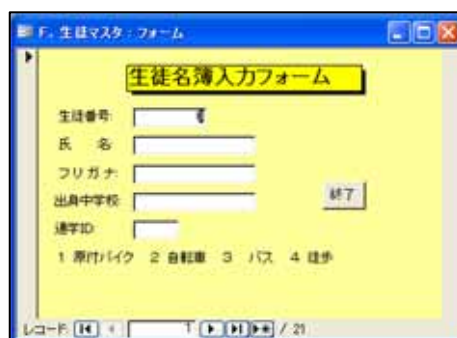
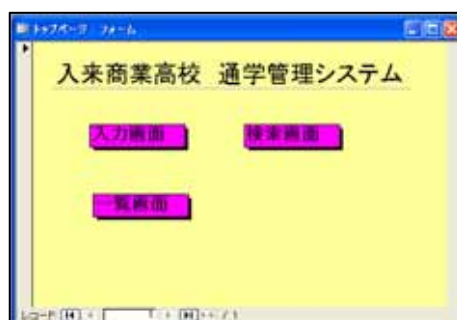


図 Access の VBA を使って作成した通学管理システムのメニュー画面（上）と入力フォームの一部（下）

1 研修成果と今後の活用

今回継続研修を希望した理由は、初級システムアドミニストレータ試験に合格し、教科の専門性を高めたいというのが最大の動機でした。研修の甲斐あって無事合格することができたので、当初の目的は達成することができました。

他にも研修の成果として、校内LANやコンピュータの初歩的なトラブルへの対応など、校務で知識を生かすことができています。生徒への還元は、教科の内容を深く理解したことで授業に工夫したり、興味関心を引きつける『仕掛け』を入れる引き出しが増えました。また、専門学校へ進学を希望する生徒へ課外などで指導することも考えています。

他にも AutoASP やデータベースソフト、動画編集など、今後自主的に研修を進めていくのに必要な基礎的な知識を学びました。特に AutoASP は授業評価や校内研修の感想、アンケート調査などすぐに活用できるものがたくさんあるので、様々な場面で活用していきたいと思います。

2 感想等

5月から翌年2月まで21回、学校を空けることに不安を感じながら始まった研修でしたが、周囲の理解や協力があり、無事に研修を終えることができました。「学校や生徒に迷惑をかけた以上に学ばなければ」とよい意味でプレッシャーになり、意欲的に各研修に取り組みました。また、教員として学び続けることの大切さを再認識しました。その意味でもステップアップ研修の翌年にこのような機会を得たのは幸運でした。

特にコース別研修では、商業科の5名の先生方と一緒に、初級システムアドミニストレータ試験の研修を通じ、切磋琢磨し、時には難易度の高さに負けそうになるところを励まし合ったり、お互いの学校の情報交換や交流が図れたので、共に苦労したよい仲間となりました。

最後に、教育センターには、情報教育研修課の先生方をはじめ大変お世話になりました。年間を通して有意義な研修を受けることができました。今後はここで得た知識をもとに、自主研修を進め、様々な形で学校や生徒に還元していこうと思います。



図 ASP を使って作成した、ネットワーク上のパソコンから入力・集計ができる進路希望調査のWeb ページ

1 研修成果と今後の活用

- ・ ホームページ作成技術の習得
学校や自分のホームページの更新・開設を行いたい。
- ・ 初級システムアドミニストレータの知識の習得
情報処理に関する知識が広がった。生徒に還元していきたい。
- ・ データベースソフトの活用法の習得
アクセスについては、特にクエリのところをもっと勉強して、活用できるようになりたい。
- ・ 動画編集技術の習得
動画編集ソフトを活用して、授業や部活動等の指導に生かしたい。

2 感想等

今回継続研修を受講させていただき、学ぶことの大切さを痛感した一年間でした。

はじめに研修の年間計画を見たときは、ほとんど勉強したことがなく知識がないものばかりで、ついていけるか不安がありました。しかし、二度とない研修なので分からないところはしっかり学び、この機会に自分のものにしていこうという前向きな気持ちになりました。

ホームページの作成やプレゼンテーションソフト、LANの構築と活用など、何回か繰り返してやっているうちにだんだん分かるようになってきました。LANの構築は実際にLANケーブルを作ってみたり、スター型のトポロジーで試してみたりして楽しい研修でした。初級システムアドミニストレータについては、試験を受けることができませんでしたが、毎時間の問題を解きながら確実に力をつけることができました。お互いに分からないところを次の時間に発表するというやり方もよかったです。画像処理やデータベースは難しかったですが、使いこなせたらデータ処理が効率的にできると思いました。

2月8日は課題研究の発表会でした。私は、パワーポイントによる部活動紹介をしましたが、反省としてパワーポイント以外に今まで学習した内容を一つでも入れておけばよかったと思いました。

継続研修は修了しましたが、これで終わりではなく、これから活用していかないと研修を受けた意味がありません。特にデータベースについてはしっかり勉強していきたいと思えます。

商業の教員として、情報処理の知識と技術をしっかり習得し生徒に還元していけるようになります。



図 PowerPoint を使って部活動紹介をしたプレゼンテーションの一部

1 研修成果と今後の活用

21回の研修で多くのことを学びました。最初ホームページの作成方法を学び、ホームページ作成にとっても興味を持ちました。今後、学校のホームページを作成していきたいと思います。また「LANの構築と活用」と「2003 サーバの構築と活用」はとても内容が難しく、研修についていくのに必死でした。しかし、一番興味があった講座であったため、少しでも理解できたかと思うととても嬉しく、早速学校へ戻り、校内のLANはどのような仕組みになっているかなど調べたりしました。今後もっと学習し、「LANの設定は任せて。」と言えるようになる事が目標です。

そして、情報処理コースの目標の一つである初級システムアドミニストレータ試験に向けて、5人の仲間と共に沢山勉強をしました。なかなか合格点に達することができずに、途中辛い時期もありました。しかし、諦めずにコツコツ勉強するにつれ点数も上がり、久しぶりに学習することの嬉しさ、楽しさを実感しました。今回、受験することができませんでしたが、4月の初級システムアドミニストレータ試験に必ず合格できるように頑張りたいと思います。

課題研究では、マクロで組んだ成績処理など校務処理ソフトの作成と、パワーポイントを用いて静止画を動画のように見せる方法で、クラス紹介のプレゼンテーションを作成しました。時間が足りなくて苦労しましたが、本番前日になんとか完成し発表することができました。今後更に改良を加え、修了式の日にはクラスの生徒たちに配布する予定です。この1年間で学んだ事を今後、生徒や学校へ還元していきたいと思います。

2 感想等

最初のうちは金曜日に学校を空ける分、月～木曜日までの授業時数が多くて余裕がなく、21回も研修があるのかと思うと「きついな。長いな。」と心の中では正直思っていました。しかし、1年間を振り返るとあっという間でした。研修の回数が残りに少なくなるにつれ、「まだ研修を受講したい。もうすぐで終わりか。」という寂しい思いになりました。振り返れば、ついていくのがやっとで悪戦苦闘しながらの講座もありましたが、仲間と助け合いながらのLAN構築や、初級システムアドミニストレータ試験合格へ向けての学習など、全てがよい思い出です。

この研修を通して、多くのよき出会いがありました。この出会いを大切に。そして、情報処理の分野に関することはもちろんのこと、その他にも教育センターの先生や研修者との会話の中などで、学校生活では決して学ぶことができない多くの学びがありました。これからも学ぶことの大切さを忘れずに、この研修で学んだことを生徒や学校のために還元できるよう、努力し続けていきたいと思っています。

図 Excel の VBA を使って作成した成績管理システム

1 研修成果と今後の活用

継続研修を受講して、今まで経験したことのない研修内容が多く様々な情報処理教育に必要な知識と技能を得ることができたと感じています。私が選択した情報処理コースは、コース別研修の半分近くが国家試験である初級システムアドミニストレータ試験対策でした。今後生徒への指導が必要となる中、受験経験がないより、実際に受験し勉強法を見つけられたらという気持ちがあったため、常に「生徒に説明するときはどうすればよいか」「視覚的に訴える方法はないか」など模索しながらの日々でした。研修者同士で分かりにくい分野を分担して授業をし、納得がいくまで質問するという方法で、授業を見ることで勉強をし、授業をすることで勉強をするという実践的な研修でした。

全体研修の内容もとても充実していて、これまで敬遠してきた分野でも、基本的な内容から入るため理解しやすく、自分のものにすることができました。データベースソフトを利用できることで生徒が理解しづらい分野を説明できる、静止画・動画編集ができることで学級経営に役立てることができる、LANの構築ができることで校内LANの仕組みがわかるなど、継続研修で学んだことすべてが学校業務で活かすことができると思います。ついていくのに精一杯という内容もあったものの、今回研修を受講することで今までゼロだったことが1なり、それが2になりました。今後は自己研修を積んで、それをさらに深めて生徒や学校に還元していきたいと思います。

2 感想等

今回、私は毎週金曜日に学校を離れ他の学校の先生方と共に研修をするという恵まれた環境をいただきました。日々の学校業務に追われていると新しいことに挑戦することは難しいですが、継続研修という場で経験したことのない内容を受講することができました。サーバやLANの構築など興味があっても飛び込めなかった分野の研修、使ったことがないソフトウェアを使い処理していく研修など、これからの教員人生で必ず役立つものだと思っています。初級システムアドミニストレータの勉強は、研修者同士が意識しあい、どのくらいぶりだろうと思うほど真剣に取り組むことができ、授業の方法や説明の仕方など、見て学ぶ機会もいただくことができました。

初級システムアドミニストレータ試験に合格したときは、教員採用試験以来の達成感を得て、これで生徒に胸を張って指導ができるという気持ちがあり本当に嬉しかったです。また、一番の収穫は教育センターの先生方や同じ研修者の先生方と出会えたことです。研修が修了して終わりではなく、この出会いを大切にしていきたいと思います。



図 Access の VBA を使って作成した
資格取得管理システム

1 研修成果と今後の活用

まずはじめに、21回の研修を受講させていただいたことに深く感謝します。研修内容については、初めて目にするような項目もあり他の研修者に大変な迷惑をかけてしまいました。特に、プレゼンテーションソフト、動画編集ソフトの活用については私自身の大きな目的であったため、指導をいただいた教育センターの先生方にも多大な迷惑をかけましたが、目的を達成することができました。

研修の成果については、生徒の研究発表でプレゼンテーションソフトによるスライドの作り方を指導することができました。また、動画編集では、昨年度に行われた長期乗船実習のビデオや在学中の写真を編集して、卒業式後に渡すことができました。

今後の活用については、表計算ソフトを使った成績処理等やプレゼンテーションソフトを活用して授業の展開に役立てていきたいと考えています。

2 感想等

今回の研修を通して 教育センターの先生方や11名の研修者と交流を深めることができたことは、非常に私にとってプラスになりました。ほぼ、毎週金曜日に学校とは違う環境のなかで、教えてもらう立場となってリフレッシュさせていただきました。

卒業記念に渡したDVDを見て、生徒・保護者から「とってもよかったよ」と言っていたときには、研修を受けさせてもらったおかげだと、あらためて感謝しました。

今後、この研修で学んだことを少しでも学級運営や校務分掌に生かしていきたいと思っています。



図 動画編集ソフトを使って作成した卒業記念DVDの一場面

1 研修成果と今後の活用

(1) 研修成果

- ア Homepage Builder について学び，簡単なホームページを作成できた。
- イ Power Point について学び，発表会のプレゼンテーションに利用できた。
- ウ LAN について学び，職場のネットワーク構築の参考になった。
- エ Flash について学び，学校紹介ビデオ作成に利用できた。
- オ Excel について学び，マクロや VBA の基礎が理解できた。
- カ Windows ムービーマーカーや Photoshop について学び 学校紹介ビデオの作成に役立った。
- キ Access について学び，学級編制用ソフトを作成し最後の発表会で発表した。

(2) 今後の活用

- ア Power Point を授業に取り入れる。
- イ Access について更に深く学び，実用的なデータベースの作成をする。
- ウ 研修で学んだ他の内容も，機会を捉えて業務に生かしていきたい。

2 感想等

ICT活用指導力を高めて，より充実した情報教育を実践したいという一心から思い切って飛び込んだ継続研修でしたが，情報総合コースは盛りだくさんの内容で，様々な研修を理解してついていくのに精一杯でした。あっという間に夏も秋も終わり，研修の最終日に行われる発表会に向けて課題研究の日々が始まりました。少し背伸びして難しい内容を選択してしまったため，しばらくは見通しが立たず，焦りと不安で苦しい日々が続きました。そんな中でも情報教育研修課の方々にはたくさんのアドバイスをいただき，また，他の研修者の頑張る姿からも元気をもらいました。四苦八苦しながらもなんとか完成して無事に発表会を終えることができ，今は感謝の気持ちで一杯です。

継続研修は一応修了しましたが，私達自身の情報教育に関する研修に終わりはなく，この研修の後，その成果をどのようにして活用していくのかが問われていくことになると思います。今後は，まず授業等でICTを活用して指導法の改善に繋がっていきたくて考えています。

情報教育研修課の方々には今後も何かとご相談することもあるかと思えます。その時はどうぞよろしく願いいたします。長い間ありがとうございました。

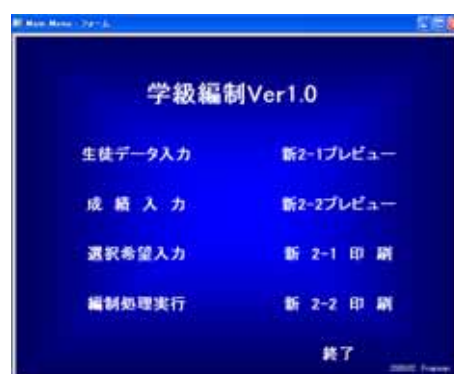


図 Access の VBA を使って作成した学級編制システムのメニュー画面